

1 研究テーマ

好ましい人間関係を育てる開発的・予防的教育支援の在り方の研究

- 「がばいシート」を活用した実践を通して -

2 テーマ設定の理由

今日、子どもを取り巻く人間関係が大きく変化し、不登校やいじめなど様々な問題が表面化している。平成19年度の文部科学省の調査では、1年間に30日以上欠席した不登校の小・中学生は13万人に迫っている。佐賀県内でも平成19年度、不登校の中学生が初めて800人を超えた。不登校になったきっかけとして、学校生活に起因するものが4割を超え、その内訳は友人関係や教師との関係をめぐる問題が半数を占めている。学校生活の中で人間関係に悩んでいる子どもたちの姿がうかがえる。

こうした状況の中、文部科学省は新学習指導要領の総則の中で、教師と児童生徒の信頼関係及び児童生徒相互の好ましい人間関係を育てるとともに児童生徒の理解を深めることの重要性を強調している。また、文部科学省の「今後の不登校への対応の在り方について（報告）」の中で、「すべての児童生徒にとって、学校を安心感・充実感の得られるいきいきとした活動の場とし、不登校の傾向が見え始めた児童生徒に対しても、不登校状態になることを抑止できる学校であることを目指すことが重要である。」と示されている。

石隈（1999）は、心理教育的援助サービスを3段階に分け、すべての子どもに対して発達課題や教育課題に取り組む上で必要とする基礎的な能力の開発を援助するものを1次的援助サービス、それらの課題の取り組みに困難をもち始めたり、これから問題をもつ危険性の高い子どもに対するものを2次的援助サービス、特別な援助が個別に必要な子どもに対するものを3次的援助サービスとしている。このことから、1次的援助サービスを、すべての子どもが集団での適応能力を高め発達課題を達成するための支援という視点から「開発的教育支援」、また2次的援助サービスを、問題を未然に防ぐための支援という視点から「予防的教育支援」ととらえた。そして、集団の中で発達段階に応じて、自己理解・他者理解を深めながら、互いの個性を認め合い、自己実現に向けた活動をすることができる好ましい人間関係を育てることが重要だと考える。

そこで、本研究では、平成20年度教育センターが作成した、集団の状態を把握するシート（「がばいシート」）を活用し、集団や個人の状態を客観的に把握した上で、開発的・予防的教育支援を計画し、実践に取り組む。この「がばいシート」は佐賀県内の小・中・高校生を対象にした「安心できる人間関係づくりに関する意識調査」の結果を基に、「集団の状態を把握するシート」として作成された。「集団の雰囲気」「友達との関係」「自己存在感」「授業への意欲」「教師との関係」の5つの観点別に、教師と児童生徒の意識の違いを比較しながら、集団や個人の状態を、客観的な視点で分析できると考える。具体的には、学校や学年などでの支援、部活動と連携した支援、個への支援などの計画・実践を検討したい。また、実践後に再度「がばいシート」を実施することで、集団や個人の変容を考察し、次の支援につなげていきたい。

以上のように、小・中・高等学校でそれぞれの集団や個人の状態に合わせた実践を通して、学校生活における好ましい人間関係を育てる開発的・予防的教育支援の在り方を探っていくことにする。

3 研究の目標

対象の小・中・高等学校の学校生活における好ましい人間関係の育成を図るために、「がばいシート」を活用した実践を通して、集団や個人の状態に応じた開発的・予防的教育支援の在り方を探る。

4 研究の内容と方法

(1) 研究の内容

- ア 開発的・予防的教育支援の先行研究や各種文献の理論研究
- イ 「がばいシート」の実施，及び集団や個人の状態の分析
- ウ 集団や個人の状態に応じた開発的・予防的教育支援の計画・実践
- エ 集団や個人の状態に応じた開発的・予防的教育支援の在り方の考察

(2) 研究の方法

- ア 先行研究や各種文献の理論を基に，開発的・予防的教育支援についての研究を行う。
- イ 対象の小・中・高等学校において，「がばいシート」を実施し，関係者と連携しながら，集団や個人の状態を分析する。
- ウ 「がばいシート」で明らかになった集団や個人の状態に応じて，具体的な教育支援の内容を検討し，実践する。
- エ 「がばいシート」を活用した実践の成果と課題をまとめ，集団や個人の状態に応じた開発的・予防的教育支援の在り方を提示する。

5 研究情報の発信について

対象の小・中・高等学校において，「がばいシート」を活用して，集団や個人の状態を把握し，それに応じた開発的・予防的教育支援の在り方を提示する。

6 研究推進計画

月	研究行程	検討会の開催等
4	研究要項作成 先行研究等の資料収集，理論研究	第1回検討会
5	研究要項修正 先行研究等の資料収集，理論研究 「がばいシート」実施	研究要項審議会 第2回検討会
6	「がばいシート」回収・分析 開発的・予防的教育支援の計画	第3回検討会
7	開発的・予防的教育支援の実践 「がばいシート」実施	第4回検討会
8	「がばいシート」回収・分析 開発的・予防的教育支援の計画	
9	開発的・予防的教育支援の実践	第5回検討会
10	開発的・予防的教育支援の実践 「がばいシート」実施	第6回検討会 中間報告会
11	「がばいシート」回収・分析	第7回検討会
12	研究のまとめ・Webページ原稿作成	第8回検討会
1	Webページ原稿検討，修正	Webページ原稿検討会
2	Webページ原稿修正	第9回検討会
3	Web発信	

《参考文献》

- ・ 文部科学省 「平成17年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」平成19年
- ・ 石隈利紀 『学校心理学』 1999年 誠信書房

《参考URL》

- ・ 文部科学省 「今後の不登校への対応の在り方について（報告）」平成15年3月
http://www.mext.go.jp/b_menu/public/2003/03041134.htm